



水の思考を育む社会的学習過程の構築： 水の思考で社会をつくる人材育成

東京大学新領域創成科学研究科 福永真弓

本プロジェクトの目的

水の思考を涵養し、流域に棲み直す

- 水の思考の涵養: 日常的な水の経験から水循環の全体性、その健全性と人間および社会の存在の豊かさの相互依存性を想像・理解すること
cf.) 流域単位の水の思考: 流域思考(岸 2021)
- 流域に棲み直す(re-inhabitation): 流域の中に棲むことの意味を再考し、他の生きものとの豊かな関係性(生物多様性)を育み、人を支える「流域社会」のデザインを模索し、棲むための作法をみつけること
- 水の思考・水のリテラシーを育み、実践するための社会的学習過程と人材育成をおこなうこと

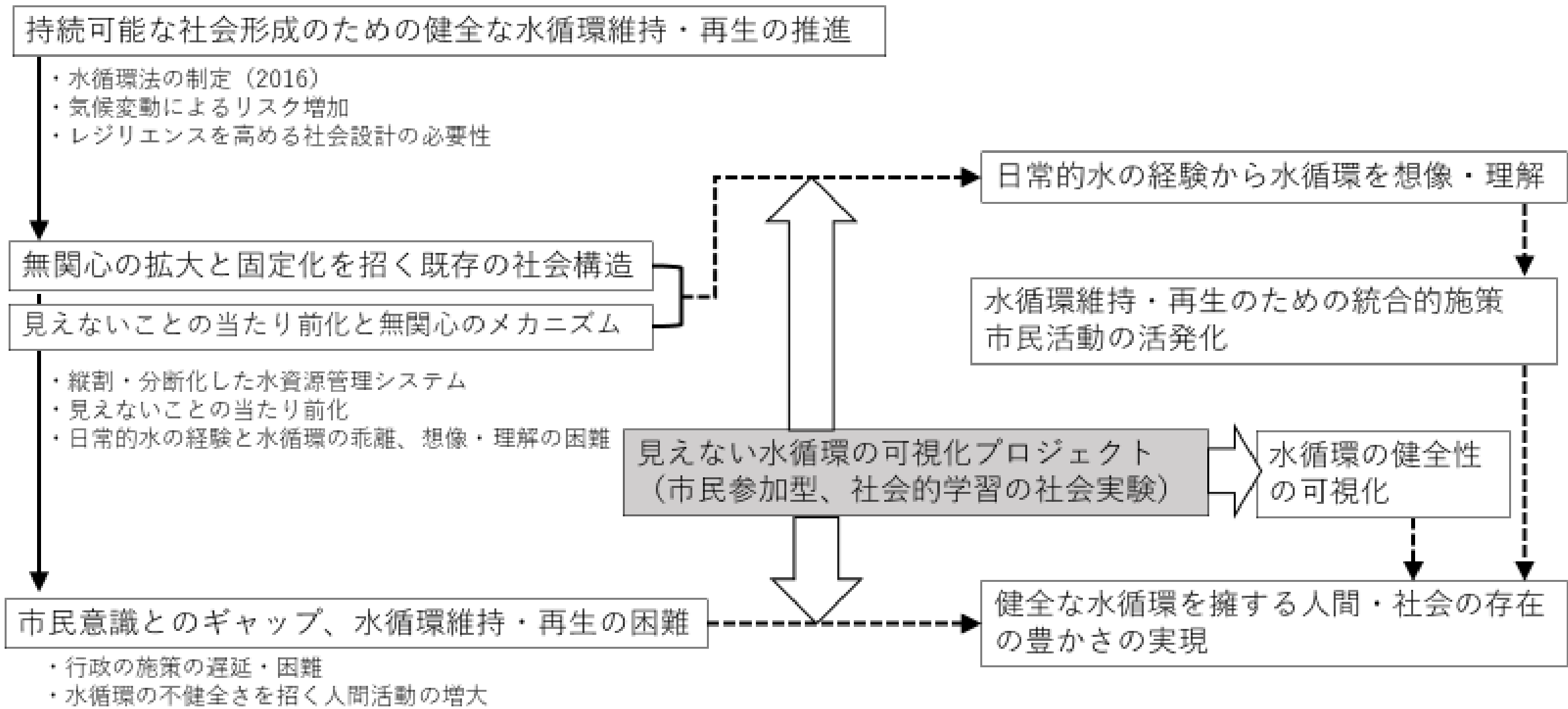


図1 本研究における問題認識と解決のシナリオ

研究手法

- 教育プログラムとの連携: 学生たちによる地域社会探索、学生たち自身の水リテラシー向上、流域社会デザインの模索
- 文献調査(上下水道のマップ、地形図、地域史、産業史など)
- フィールドワークとインタビュー
- 「見えない水を見る」しかけと水リテラシー涵養方法の模索

1) 教育プログラムとの連動

- 流域環境デザインスタジオ(2021, 2022, 2023) 大学院生向け
- 柏の葉サイエンスキャンプ(2021) 学部生向け
- UDCKなど民間団体との連携
- アーティストとの連携 (成果・一般の人びとへの広がり)



流域環境スタジオII
柏の葉サイエンスキャンプ
2021 水の思考プロジェクト
福永真弓研究室+坂本麻衣子研究室
<https://fukunaga-labo.net/about/>

見えない水を 可視化する

水の思考にもとづく社会設計に向けて

見えない水を可視化する

水は見えない？
なぜ気にならないのか？

な
も

な
き
な
か
れ

見えなくなってしまうている水の流れを想像し、感じなおすために



東京大学・福永研究室（流域環境デザインスタジオ）とアーティストの研究成果・作品展示

東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 一階多目的ホール
（つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅 西出口から徒歩一分）

〒277-0871
千葉県柏市若柴1-78-4 柏の葉キャンパス148-4

2023.05.27-28 10:00-17:00

東京大学・福永研究室「流域環境デザインスタジオ」

酒井風 山下港 三好由起 鈴木初音

主催・研究発表：東京大学大学院新領域創成科学研究科・福永研究室（流域環境デザインスタジオ）

助成：水・地域イノベーション財団助成事業（2021-2022）

ディレクション：山下港 酒井風

アートワーク：酒井風 山下港 三好由起 鈴木初音

ポスター制作：長嶋健太



1) インフラ化した水

- * 水循環法に基づく施策を行う上でのボトルネックの抽出
- ・水循環法の手前: 水の不可視化という現象
水と人の距離の物理的・社会文化的・心理的遠さ(嘉田 1995)
- ・インフラ化による水の不可視化: 見えないこと = 適切なインフラ運用
高度成長期の上下水道・用水整備
汚水対策・空間利用を目的とする暗渠化
リスク管理と目的別の統治体制の整備
- ・景観・親水空間以外の水と「出会わないこと」= 安心・安全

水循環をたどる

- 地形図(国土地理院)を用いて流域の地形的変容をたどる
- 上下水道を地形図に重ねて開発と水循環の変容をたどる
- 人工的水インフラの履歴と水利用の変容についてたどる
- 大室～柏たなか、柏ビレッジ、キャンパス駅周辺





町を歩いて水利用 の履歴をたどる

- 歩いて「水利用の履歴」をたどれるモノを探す
- 水利用の履歴を語れる人を探す



2) 水リテラシーの探求

- 水リテラシーとは何か？
- 「見えないこと」がもたらす、リテラシーへの無関心

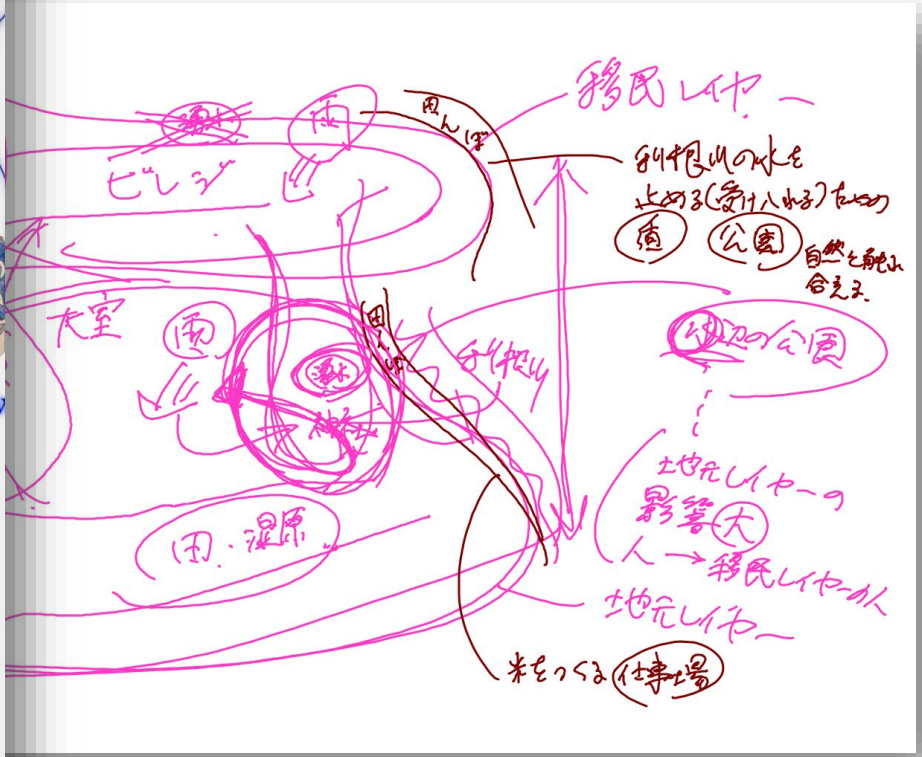
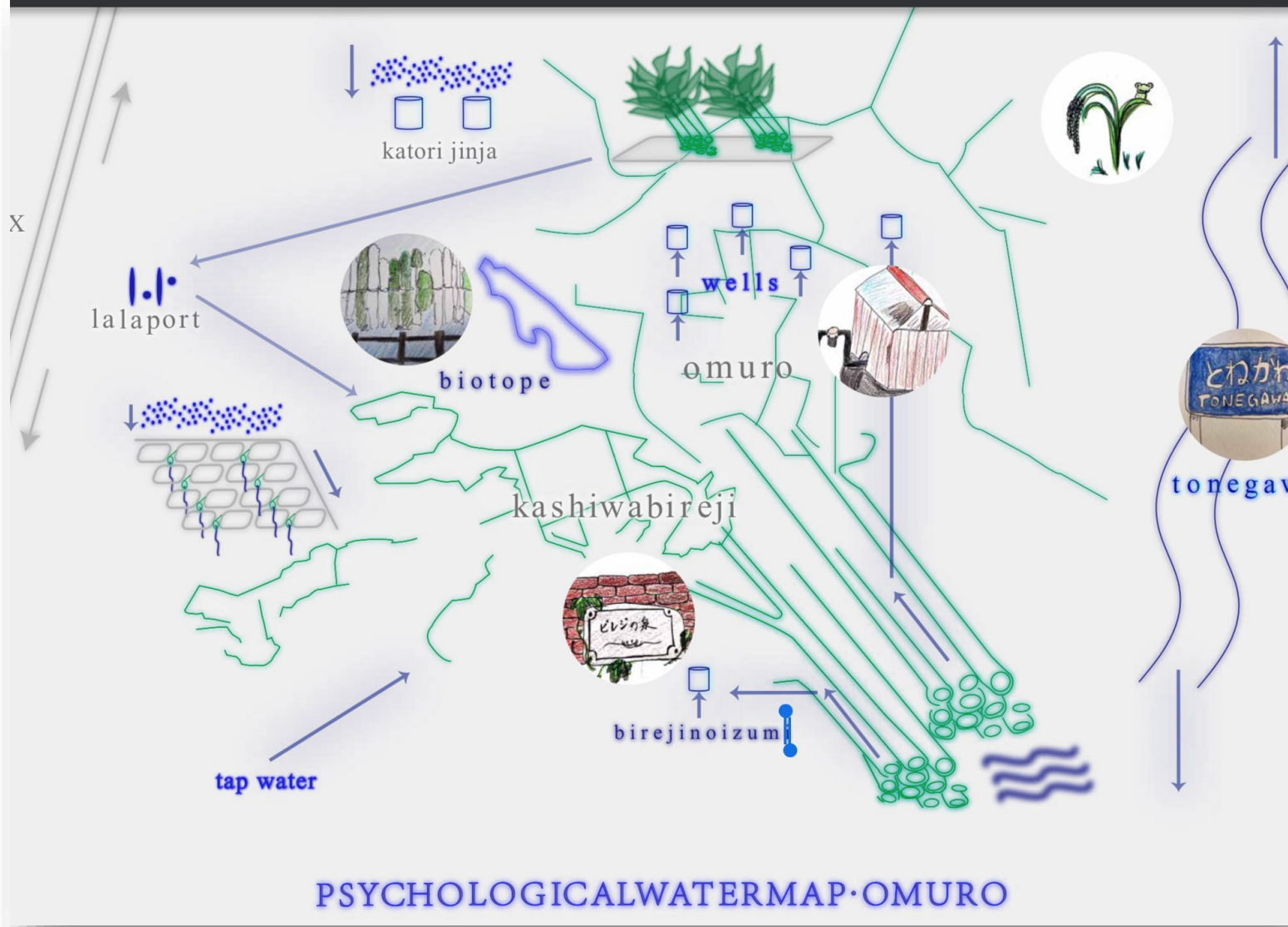


3)水循環の健全性について どのように関心を広げるか

- 正面突破は難しい
- 災害リスクは「整地された町」では問題になりにくい(災害の記憶の成功経験による上塗り)→いい町
- 不可視化される過程自体が見えない
- 科学的なエビデンスを超えた「思想」と「価値」の問題として現れる







- 「見えない水」:人工インフラ化、アメニティ化、農産物
- 大室～柏たなか、柏ビレッジ、キャンパス駅周辺の「あいだ」の水とモノのやり取り



柏の葉周辺の見えない水を可視化する

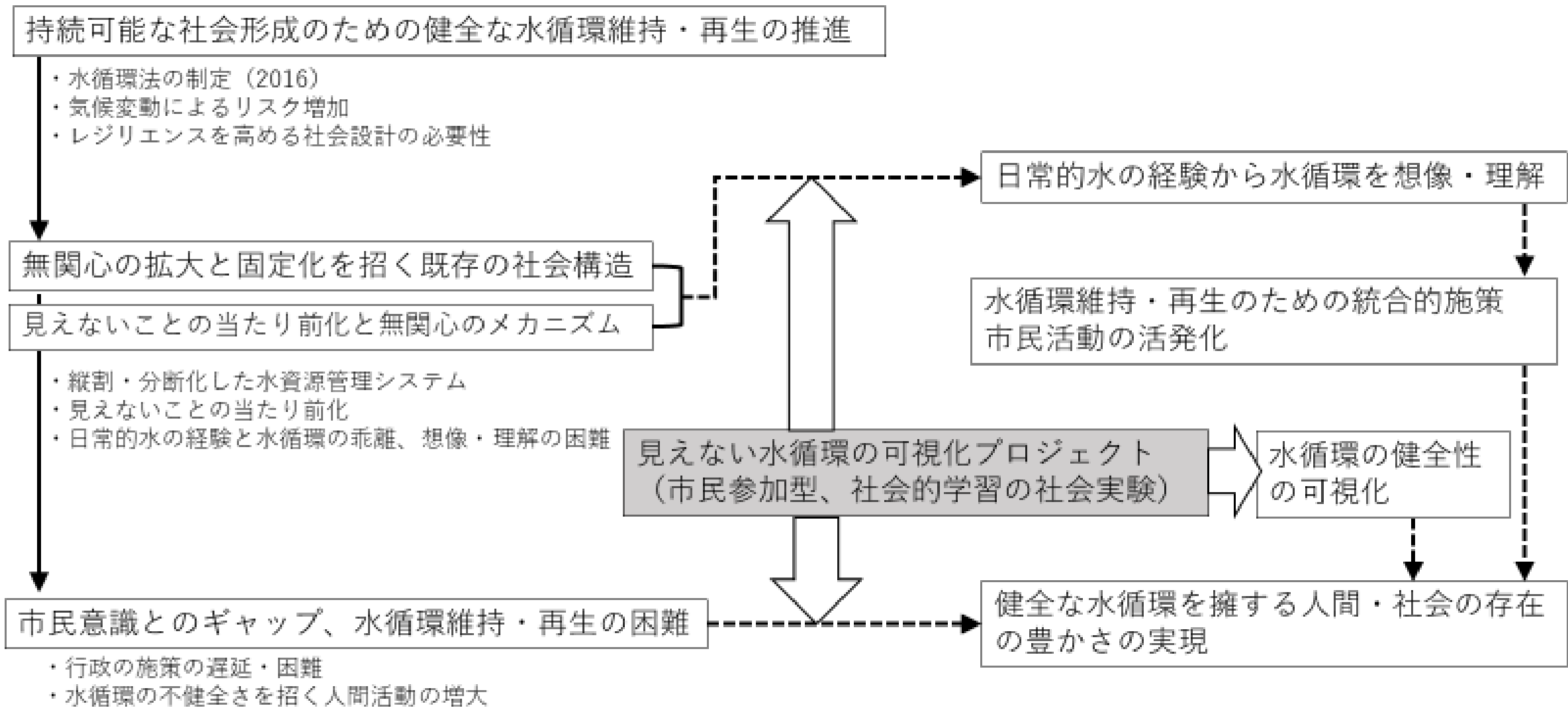


図1 本研究における問題認識と解決のシナリオ

来年度以降の 課題

「見えない水を可視化する」プロジェクトの継続
「意味ある水」を取りもどすプロジェクトの形成